

◆前営業日の相場動向◆

リスクオン姿勢の強まりから日経平均株価は最高値更新

	8/12	前日比		8/12	前日比		8/12	前日比
日本国債(10年)	1.499%	0.014%	日経平均(円)	42,718.17	897.69	ドル円	147.84	-0.31
独国債(10年)	2.744%	0.048%	独DAX(pt)	24,024.78	-56.56	NY原油	63.17	-0.79
米国債(10年)	4.289%	0.004%	NYダウ(ドル)	44,458.61	483.52	NY金	3,348.90	-4.20

【ポイント】

- **日本株は上昇**：前週末に石破総理の退陣観測、米国株が堅調に推移したこと、米中協議が進展したこと等を受け、大幅高となった。特に、AI関連銘柄が大きく上昇し、指数全体を押し上げ、日経平均株価は最高値を更新した。
- **米国株はまちまち**：CPIが概ねコンセンサス通りの結果となり、FRBの9月の利下げ織り込みが一層進み、リスクオン姿勢が強まり上昇した。幅広い銘柄が上昇したが、リスクオン姿勢の強まりからハイテク株の上昇が著しく、ナスダックは史上最高値を更新した。
- **米金利は上昇**：CPIで想定以上にインフレが加速しなかったことから、FRBの9月利下げ織り込みは9割を超えた。これを受け、短期の金利は低下したものの、中長期の予想短期金利や期待インフレ率は変化しておらず、10年金利は上昇した。
- **ドル円は下落**：CPIを受け、ドル円は下落した。前日まで、CPIの上振れ警戒等から円売りの動きがあったことが背景とみられる。

【主な材料】

- 米CPI(前年比):2.7%(予想2.8%)
- CME Fed Watchの9月利下げ確率：93.4%(前日：85.9%)

◆本日の見通し◆

米国株高、好需給を受け、日経平均株価は最高値を更新しよう

予想レンジ

日本株 ↗ 42,500-43,500

米金利 ↗ 4.25-4.35

ドル円 ⇒ 147.30-148.30

- **日本株**は上昇を予想。米国株高、売り手不足により上昇しよう。但し企業業績を伴わないので、利益確定売りの動きが出て寄天の可能性も。
- **米金利**は上昇を予想。リスクオン姿勢の強まりから、債券売り株買いの動きが継続しよう。
- **ドル円**は横ばいを予想。米金利の上昇は円安要因だが、FRBの利下げ期待は円高要因。強弱材料入交り、横ばい圏で推移しよう。

◆本日の注目ポイント◆

最高値更新も過熱感に乏しい米国株の今後

- 米国CPIが落ち着いた内容となったことで米国株は最高値を更新した。下図の通り、過熱感の表すRSIは70を下回っており過熱感はない。一方米国株の変動率を示すVIX指数は15を割り込み、ここ1年の中ではボトム圏。何らかのネガティブ材料をきっかけに急上昇しやすい環境にあると言える。
- ①米関税交渉が一旦決着に向かっていくこと（日本、EUは15%で妥結、中国は90日間の延期）②9月利下げ確率が93%に達し、すでに来年央まで1%利下げが織り込まれていること等好材料は出尽くしつつある印象。いわゆるFOMO（取り残されへの不安、fear of missing out）的な買いが一巡すれば中間決算等の見極めの時期に入る。9月はここ5年で4年マイナスのパフォーマンス。RSIが70を上回るなど過熱した際の調整局面入りに注意したい。



	イベント	注目点
8/15	4-6月GDP	1-3月はマイナス成長に陥ったが、プラスへの回復が見込まれる。日本国内の経済イベントでは、9/1法人企業統計、10/1日銀短観、10月上旬日銀支店長会議が次の焦点。
8/21-23	カンザスシティ連銀ジャクソンホールシンポジウム	各国の中央銀行総裁をはじめとした金融政策関係者を集めて毎年開催。金融政策を決める公式の会議ではないものの、FRB議長が金融政策の今後の方向性等について言及することも多く注目されている。

○東証1部33業種中 26業種が上昇（値上がり率上位） 鉱業> 銀行業> 情報・通信業
 ○S&P11業種中 11業種が上昇（値上がり率上位） コミュニケーション・サービス> 情報技術> 金融
 ○主要通貨強い順 CHF> EUR> GBP> AUD> JPY> CAD> USD

◆前営業日のマーケット動向◆



GJGB10 Index (Japan Govt 10 Yr) デイリー Tick

12 Aug 2025

Copyright© 2025 Bloomberg Finance L.P.

13 Aug 2025 06:34:42

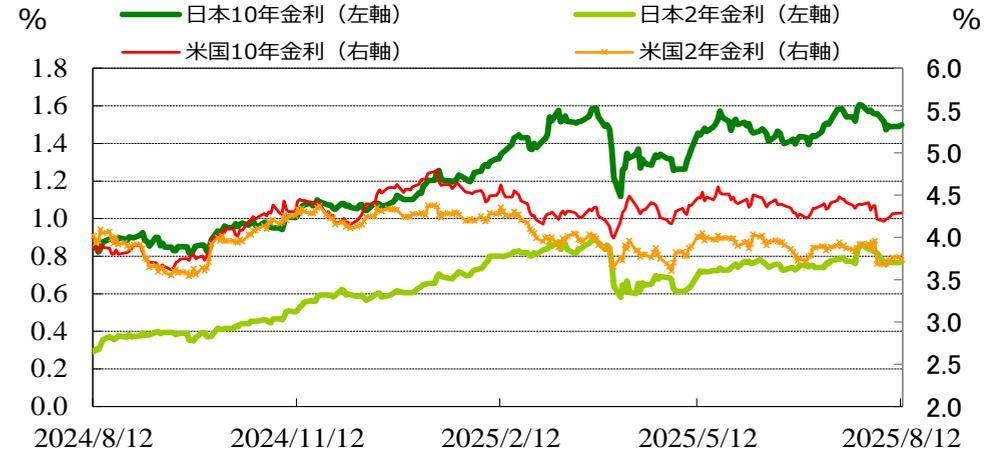
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



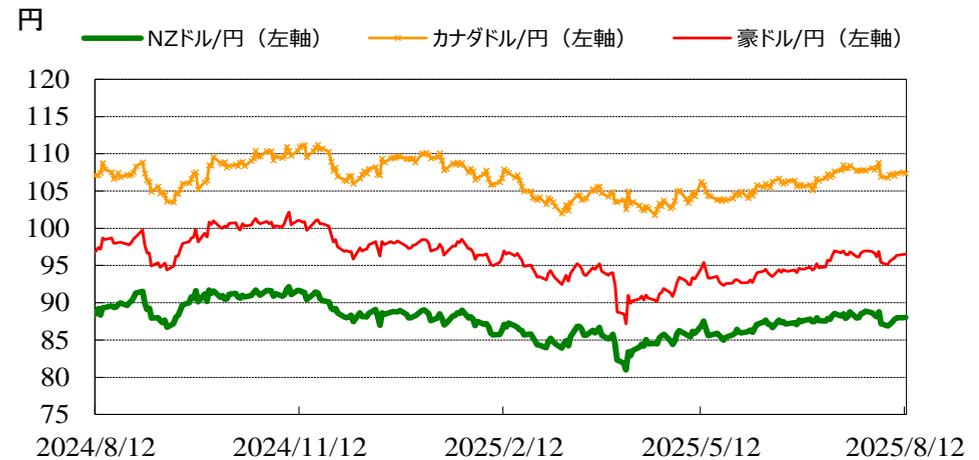
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）



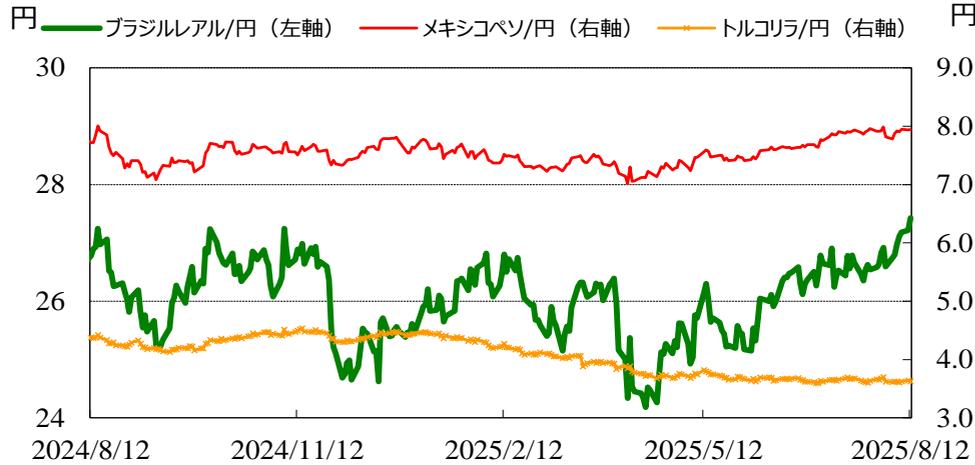
◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

◆マーケット・チャート◆

(出所：Bloomberg)

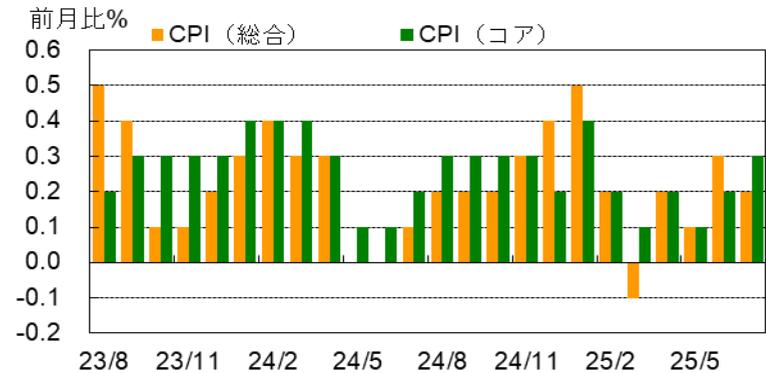
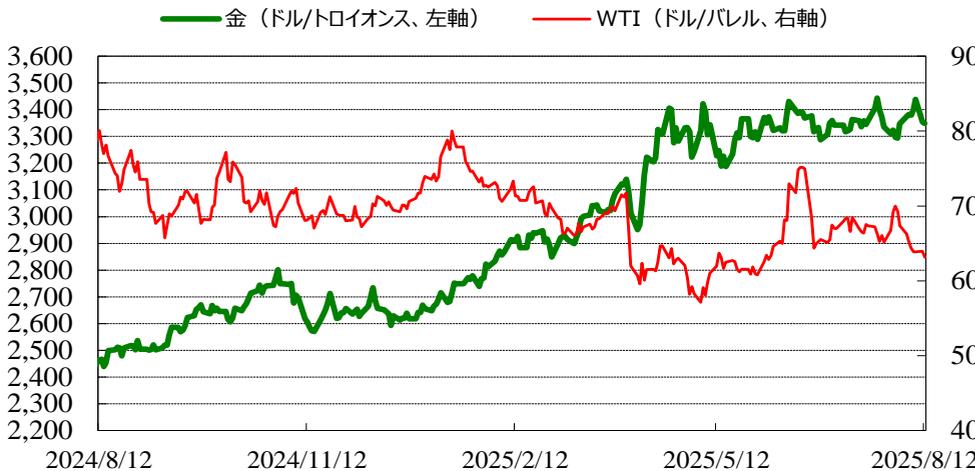
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）

図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）

図表8：米国CPI



出所：Bloomberg、りそな銀行

7月総合 前月比+0.2%（市場予想+0.2%、6月+0.3%）

コア 前月比+0.3%（市場予想+0.3%、6月+0.2%）

◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

